

《令和5年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
近世唱導文芸研究会	平間 尚子
研究会名 略称:近世唱導	所 属:大正大学総合仏教研究所
活動紹介	
<p>【活動内容】 近世唱導文芸研究会では、大正大学図書館に所蔵されている近世の唱導文献を対象として、資料の読解、および引用文献資料の流布や展開を研究している。</p> <p>現在は、慶安四年に刊行された『類雑集』を研究対象としている。本書は、巻一～巻十と総目録の全十巻十一冊で構成され、内典・外典等からの抜書きを分類配列した、類書である。平成23年度以降、一巻ずつ翻刻を進めて、翻刻は全巻終了している。昨年度からは、『類雑集』全巻を対象に、出典に関する再調査を進めている。また、平成28年度より、『類雑集』伝本調査に着手し、現在までに、京都大学、龍谷大学、大谷大学、叡山文庫など各所で調査を進めている。本研究会には、研究員のほか、教員、大学院修了者が所属し、連携を取りつつ研究を進めている。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など</p> <p>『除睡鈔——翻刻と研究——』岩田書院(大正大学総合仏教研究所叢書、第二十四巻、2008年)</p> <p>『類雑集』翻刻[一]～[十]、『大正大学総合仏教研究所年報』33号～42号(2011年～2020年)</p> <p>『類雑集』研究(1)『大正大学総合仏教研究所年報』43号(2021年)</p>	
<p>【令和5年度活動計画】</p> <p>今年度は、『類雑集』全巻を対象に、出典が未詳となっている箇所を再検討し、その成果を『大正大学総合仏教研究所研究年報』46号に掲載する予定である。『類雑集』がどのように生成され、用いられてきたのかについて、分析と考察を進め、研究発表できるように準備を行ないたい。</p>	